



地域活動専門員日誌

高齢者の買い物を支援しています！



小笠原俊裕さん 「イドスク」を体験中



小友町の高齢者の買い物を支援する「イドスク」を行なっています。小友地区センターに高齢者が集まる機会に合わせ、大型スクリーンを設置し、「産直ともちゃん」の野菜やパンを映像と音声で生中継。その場で注文を受けます。職員が注文をまとめて同産直に連絡し、産直スタッフが商品を地区センターまで届け、代金を精算できる仕組みです。買った商品も自宅まで送る際に一緒に運びます。今後もさまざまな支援を実行していきます。

SL 銀河通信



絵本を寄贈いただきました



JR東日本さまからSLの絵本102冊を寄贈いただきました。SLぎんがくんと子どもたちとの心温まるストーリーが描かれています。市内小学校などに寄贈され、市民の皆さんは図書館で閲覧できます。

オリジナル手ぬぐい発売！

道の駅みやもり「めがねばし直売所」では、SL運行を記念したオリジナル手ぬぐいを販売しています。絵柄は2種類あります。▷販売価格 1,050円(税込み) ▷問い合わせ ☎67-2929



元気にボールを奪い合う子ども

バスケットチーム結成！ 市内バス盛り上げよう

詳しくはこちら！

- ◆練習日時 毎週水曜日(18時半～20時) ※変更する場合あり
- ◆練習場所 遠野小体育館など
- ◆問い合わせ オヴェンセ理事 菊池光信 ☎090-8612-0046

市内スポーツの活性化を目的に活動するNPO法人オヴェンセ(菊池長悦理事長)は小学生を対象にしたバスケットボールクラブを結成しました。バスケットをしたい、やらせたいという子どもや親の要望に応え、上郷町在住で釜石高バスケット部監督の菊池光信さんを中心に昨年10月に結成。児童はルールを教わりながらボールに親しみ試合を楽しんでいます。菊池さんは「バスケットの面白さを知ってもらいたいと思い活動中です。これを機会に少しでも興味を持ってほしい」と意気込んでいました。



にぎやかコンサートに幕 遠小バンド最後の音楽祭

遠野小スクールバンド(小笠原奏恵部長、部員25人)による「さよならにぎやかコンサート」は11月30日、同小体育館で開催されました。同バンドは平成元年に結成し、毎年コンサートを開催してきましたが、参加児童の減少などから、今回で活動休止を決めました。コンサートにはOBやOGも参加し「テキーラ」など7曲を披露。娘の演奏を見た石本恵美子さん(東館町)は「練習を頑張ってきて、立派に演奏できていたと思います」と、目頭をあくしていました。



1_有終の美を飾るバンドメンバー 2_市民バンド「ニューリパティ」も応援に駆け付けました



本場のフランス料理体験 伊藤シェフ迎え料理教室

奥州市の洋食料理店「ロレオール」のオーナーシェフ・伊藤勝康さんによる料理教室は12月2日、小友小学校で開催されました。同校の5・6年生とその保護者ら38人は、伊藤シェフの手ほどきを受け、遠野産の野菜や豚肉などを使ったリゾットやミルク煮などの本格フランス料理づくりに取り組みました。料理は全部で5品。小沼勇貴君(6年)は「どの料理もおいしかった。将来は伊藤シェフのようなおいしい料理を作れるシェフになりたいです」とこり。伊藤シェフは「この教室が、子どもたちにとって地域の食材の良さに気づききっかけになればうれしい」と思いを語りました。



1_伊藤シェフの手作業に見入る児童ら 2・3_初めての本格フレンチにも笑顔で取り組む 4_自分で作ったフランス料理を味わう 5_おしゃべりに盛り付けられた料理。見た目の美しさなども学びました



心温まる舞台をつくろう ファンタジーの旗揚げ会

第39回市民の舞台遠野物語ファンタジー「河童のやんたろう」(2月22・23日公演)の旗揚げ会は12月3日、あえりあ遠野中ホールで開かれ、出演者やスタッフら100人は、抱負を述べ、舞台の成功を誓い合いました。

今作は、高橋好子さん(66)=綾織町=が原作を手掛けたカップにまつわる物語で、笑いあり涙ありの2場12幕。脚本を赤坂康紀さん(48)=大工町=、演出は小林立栄さん(38)=六日町=が務めます。演出は初めての小林さんは「子どもたちが主役の舞台。元氣あふれる舞台に仕上げたい」と意気込んでいました。



それぞれ意気込みを語るスタッフら



昔ながらのしめ縄作りに取り組むまぶりと衆の皆さん

しめ飾り作りで正月準備 「まぶりっ」としめ飾り作り

遠野ふるさと村のまぶりっと衆「早池峰の会」(藤田榮会長、30人)は12月19日、同所で正月のしめ飾りを作りました。参加した同会員や市民ら23人は、慣れた手つきで一つひとつ丁寧に仕上げていました。手作りのしめ飾りで正月を迎えてほしいと同会員らが始めて今年で3年目。会員らは縄をたたいて柔らかくし、手足を使ってなう昔ながらの技法で、会話を楽しみながら取り組んでいました。藤田会長は「昔の生活の知恵や技術を、実演を通じて覚えてもらえればと思っています。いつかは地域の子どもたちにも、技術を伝えてたい」と願いを込めました。